

# 笏谷石物語 マップ①

## 地産地消

### “笏谷石1500年の歴史と文化を再発見”

市民まちづくりゼミナール「福井の伝統ある文化を学ぼう」部会

福井市には『笏谷石文化』が1500年以上の歴史と共に生きています。  
私たちは“地産”である笏谷石の歴史や地質・採掘について学び、“地消”である笏谷石の石造物や加工品の用途や所在について調査しています。

2008年度は、福井市足羽山～福井城址周辺を調査対象地域として、その調査をもとに『笏谷石物語マップ』（散策モデルコース）を制作し、今後も多くの方々に笏谷石の文化と歴史を紹介していきたいと思っています。

水に濡れて美しく変化する笏谷石独特の鮮やかな青緑色。さらに加工のしやすい石質により、笏谷石造り文化と美術が誕生しました。

みなさんも笏谷石を見つけたら、ゆっくりその石と会話してみてください。きっと、石にまつわる様々な歴史、携わった人達のぬくもりを感じられることでしょう。

見事な笏谷石の彫刻!!  
彫り師宮崎菊太郎の作

福井の身近な暮らしの中でさまざまに使われてきた笏谷石の数々...

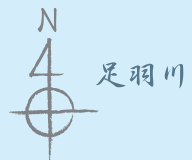
#### ■丹巖洞（たんがんどう）

史跡『丹巖洞』は、足羽山麓の“笏谷石”採掘跡地に静かに佇む草庵で、1846年に福井藩医の山本瑞庵が建てたものです。藩主の松平春嶽を始め、由利公正、橋本左内などの幕末の志士たちが密会を開いた所として知られ、ひょっとすると坂本龍馬もここを訪れたかもしれないと言われています。橘曙覧、横井小楠、中根雪江ら多数の文人墨客も来遊しました。当時の足羽川はこの丹巖洞の近くを流れていました。川から笏谷石を三国に運び、北前船で全国各地に運んだのです。笏谷石の採掘跡の洞と庭園には、当時のままの雰囲気が残っています。

#### ■モデルコース（約1km）

若杉一丁目通り→泉通寺→若杉の六地藏  
130m 240m 80m 120m  
→日野神社→熊野神社→T邸→  
210m 280m  
森の木(神木)→O邸→丹巖洞(採掘跡地)

この通りは、笏谷石の石塀が続きます。



至福井工業大学

新明里橋

明里橋南詰

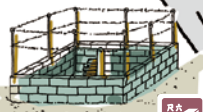
至福井競輪場

明里

至前谷神社

※用途分類マークの説明は「笏谷石を訪ねて」～地産地消1500年の歴史と文化を再発見～の調査報告書及びホームページ<http://www.fukui-shimin.jp/syaku/>をご覧ください。

●市民まちづくりゼミナール  
についてのお問合せは  
福井市 総務部 政策調整室  
TEL.0776-20-5283



※無断転写を禁じます。2009.2.14発行第一版

## 笏谷ロード ●約1km(笏谷ロードの家並み～史跡丹巖洞(採掘跡地)) A-1 景観と笏谷石のハーモニーロード

■調査・企画制作/市民まちづくりゼミナール  
「福井の伝統ある文化を学ぼう」部会  
■制作協力/稲葉デザインルーム

← 至社中学校

TSUTAYA

